

景観解析学研究室

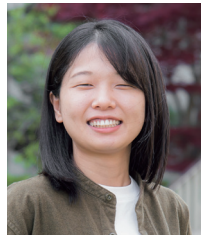
STAFF

准教授 橋本 啓史
緑地環境学・緑地植物学
ランドスケープ・デザイン学
ランドスケープ・デザイン学特論(大学院)
景観解析学特論(大学院)

助教 大崎 晴菜
景観解析学
生態系管理学(予定)



准教授 橋本啓史



助教 大崎晴菜

研究テーマ

景観を様々な視点やスケールで解析し、人と自然との共生を目指す

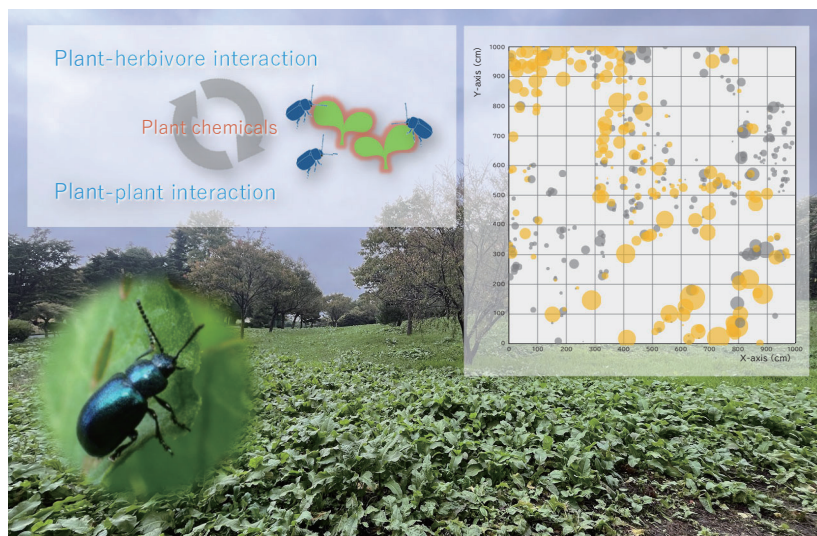
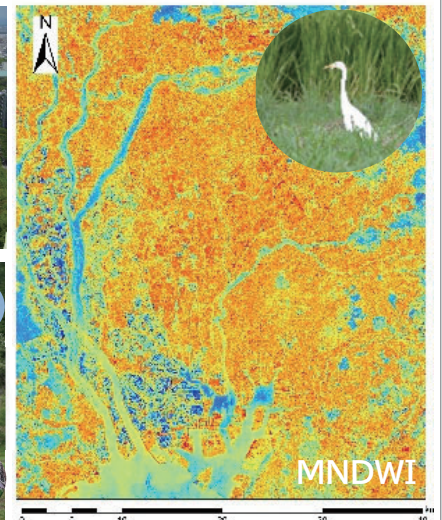
研究内容

都市緑地や里山などの身近な環境が研究対象です。人だけでなく野生動植物などにとってもすみやすい景観とはどのようなものかをリモートセンシングや栽培・飼育実験、統計モデルやGISといった様々な手法を駆使して明らかにし、生物・人・自然の調和の道を模索していきます。

都市の緑化・公園計画

土地利用や景観の 歴史的変遷の把握

野生動植物の 生息・生育条件把握



植物・植食性動物 の空間解析

化学的な生物間 相互作用の検出

自然との共生 景観保全

最近の主な論文・著書／著者論文名等

- 橋本啓史 (2022) 鳥類を指標とした都市の景観生態 (日本景観生態学会(編)『景観生態学』, pp246, 共立出版), p143-145
- 橋本啓史・多和加織・松浦文香・長谷川泰洋 (2021) 近代以前の熱田神社社叢の林相の変遷. なごやの生物多様性 8: 23-36
- 須川 恒・橋本啓史 (2017) 水鳥の現状とその変遷 (西野麻知子・秋山道雄・中島拓男(編)『琵琶湖岸からのメッセージ 保全・再生のための視点』, pp248, サンライズ出版), p175-193
- Ohsaki H*, Yamawo A, Tachiki Y (2025) The spatial aggregation of phytophagous insects is driven by the evolution of preference for plant chemicals. Journal of Theoretical Biology
- Tsuzuki Y*, Ohsaki H*, Kawaguchi WY*, Suzuki S, Harada S, Otake Y, Shinohara N, Katsuhara RK (2024) Nationwide diversity of symbolic "city flowers" in Japan is increasing. Ecological Research
- 大崎晴菜 (2023) 近隣の植物に対する種子の発芽応答 (種生物学会 (編)『植物の行動生態学 感じて、伝えて、記憶し、応答する植物たち』, pp213, 文一出版), p27-32